

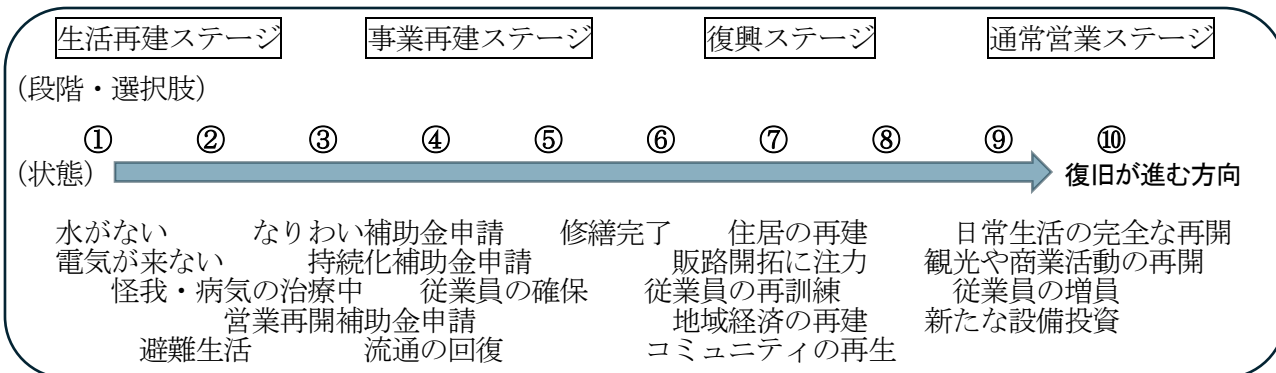
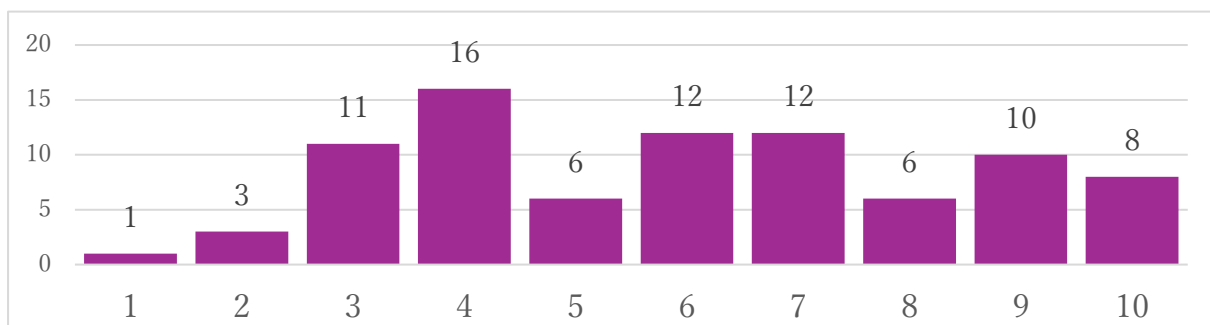
◆珠洲商工会議所会員に関する補助金活用状況(会員数 442 社)

令和 8 年 5 月 13 日作成

【現状】

- ・市内事業所の再開状況は発災時と比較して約 7 割に留まっている。修繕が少しずつ進んでいる状況。約 2 割が廃業し、1 割が計画中又は再建未定の状態。
- ・市内事業所の復旧・復興状況にばらつきがある。外浦の豪雨エリア、宝立町の津波エリアにおいては進捗があまり見られない。一方で、完全に元に戻った事業所もあり、売上の維持や人材確保などの課題がみられる。

調査期間 令和 8 年 3 月 16 日 (月) ~ 4 月 5 日 (日) 平均 5.98 n=94



- ・2年間で85会員(約120件)のなりわい採択、申請ベースでは珠洲市内の事業所のべ約160件。申請においては被害が軽いか、事業継続が明確であるか、資金力に心配のない事業所の申請が中心となった。

◆石川県なりわい再建支援補助金利用 271社

会員採択85社(延べ約120件、珠洲市内全体では約160件)

+相談中124社① +利用希望あり 62社②

◆小規模事業者持続化補助金(災害枠) 132社

◆営業再開支援補助金 157社

採択144社 +相談中2社+利用希望11社

◆補助金を使うか未定 24社③

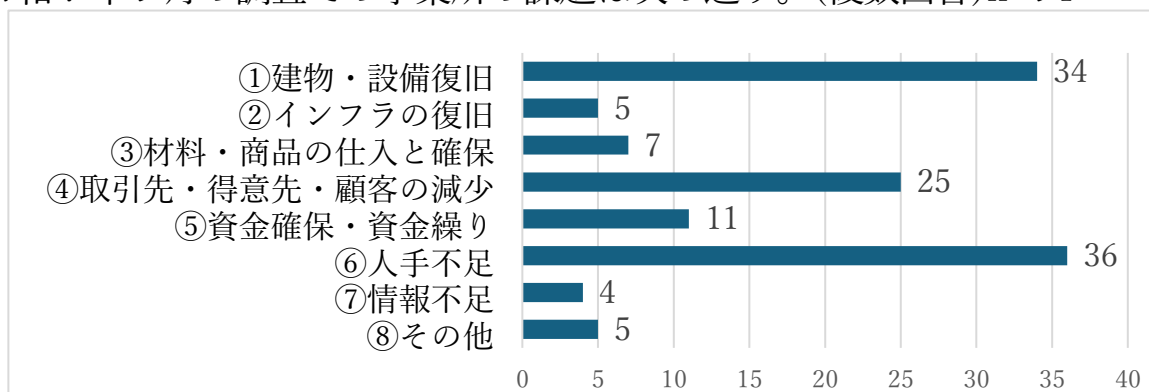
◆補助金を使わない 115社

【目標】

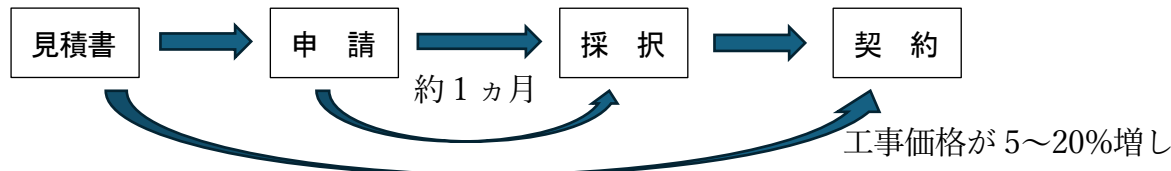
- ・令和7年度の目標は、一社でも多くを自助努力可能なプラスマイナスゼロの水準にまでもっていくこと。
- ・令和8年度は、①相談中の124社、②利用希望のある62社、③補助金を使うか未定の24社の計210社の課題把握と申請への支援をメインに取り組む。

【課題】

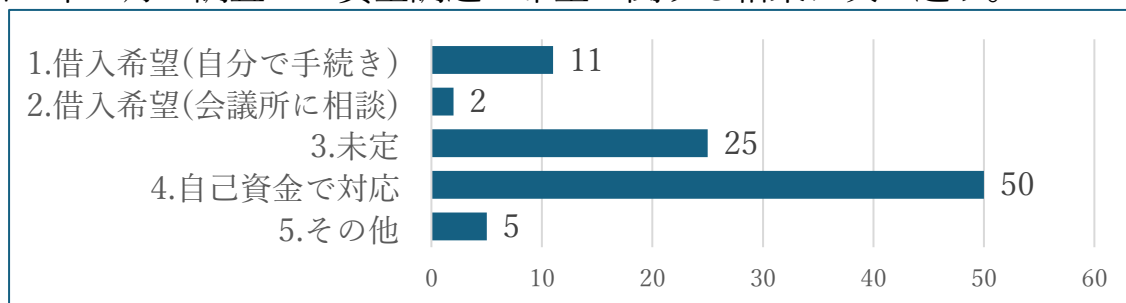
- ・令和7年9月の調査での事業所の課題は次の通り。(複数回答)n=94



- ・中東情勢の不透明さがあり、材料不足と値上がりから工事着工しないとか、見積りを作ってくれないという話もある。
- ・なりわい補助金の申請額が高いことから、採択を受けてから契約を交わすことが多いが、その時に工事単価が跳ね上がっている。



- ・支援課題は、申請者が申請のことが最優先になりがちであり、過大投資でないか、借入が可能か、中長期の経営計画や返済計画など将来を見通した取組みを描いているか、を確認することと考えている。
- ・令和8年3月の調査での資金調達の希望に関する結果は次の通り。n=94



【要望】

- ・なりわい補助金の活用が本格化する中で、採択を受けた補助金額など復旧に必要なつなぎ資金の支援をお願いしたい。同時に、売上計画や経営方針などで大幅な見直しが必要な事業所に対しては、商工会議所と一緒に経営計画書の策定支援をお願いいたします。